

# 住宅論

選 択

開講年次：4 年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：住宅建築について、戦後日本での変遷を軸に論じる。文献や事例からそれらの空間概念と時代背景、場所論、風土論などから考察する。また、建築物としてみる住宅に限らず、広く住まいや場、自己のアイデンティティの拠り所としての観点にも触れていく。

■**到達目標**：①戦後日本の住宅建築の変遷と時代背景に学ぶ。  
②住まいや場所のアイデンティティについて考察する。  
③居住空間と身体の関係について考察する。

■**担当教員**：

山田 良

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 住宅にまつわる諸概念
- 第 2 回 戦後日本の住宅建築の変遷①
- 第 3 回 戦後日本の住宅建築の変遷②
- 第 4 回 戦後日本の住宅建築の変遷③
- 第 5 回 場のアイデンティティと住まい①
- 第 6 回 場のアイデンティティと住まい②
- 第 7 回 住宅を考える（ショート課題①）
- 第 8 回 住宅と地域性①
- 第 9 回 住宅と地域性②
- 第10回 芸術と住まい①
- 第11回 芸術と住まい②
- 第12回 住宅を考える（ショート課題②）
- 第13回 身体と空間
- 第14回 開放性と混在—集合住宅
- 第15回 住宅を考える（ショート課題③）

■**教科書**：適宜資料を配布するため、特定の教科書は使用しない。

■**参考文献**：講義内で適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
レポート・授業内課題	◎	◎	◎	用語の理解と内容の論説	50
授業態度	◎	◎	◎	授業への積極的な参加	50
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習1（空間デザインコース）、空間デザイン論、近現代建築史など

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：戦後日本の近代住宅建築の変遷からはじまり、ひろく空間や場、身体からの観点にも触れていきます。